



のうそんこうりゅうしせつ「もりのすばこ」うんえいいんかい  
農村交流施設「森の巣箱」運営委員会

～“夢のまた夢のはなし”がもたらした地域と暮らし“～



集落コンビニ



居酒屋

### 経緯

- 時代の変化や林業の衰退、子供の減少により学校は廃校、文化の灯が消え寂しさと不安が募る。「このままでは集落が消滅してしまう！このままで終わりにたくない」と、高知県の集落再生パイロット事業を住民へ提案。
- 全員が、自分たちの生活と暮らしを守る集落の存続を希望し廃校舎を活用した取組を開始。

### 取組内容

- 住民の声をきっかけに、平成15年に廃校となった小・中学校の校舎を活用し、集落コンビニ、居酒屋、宿泊施設を備えた「森の巣箱」を設立。
- 設立当初は、安定経営のため世帯ごとに当施設での毎月の購入金額の目安を定めた「購買協定」を締結。現在は、宿泊施設の利用料収入等により購買協定や補助金に頼らない運営を実施。施設職員や住民が役割分担をしながら運営している。

### 活動の効果

- 廃校舎を活用した地域づくりが注目され、平成19年度に全国過疎自立活性化優良事例として総務大臣表彰を受賞。その後、視察や宿泊客が増加し、県内外からの来客者と住民との交流の場も多くなっている。
- イベントの開催や修学旅行生の受入れも実施。
- 閉鎖的だと思っていた集落が地区外との交流で社会の変化に順応する地域に変わったと感じる。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

高齢化等による集落の存続が危ぶまれている地域が連携しまちづくり活動に取り組む「津野町まちづくりネットワークfuu-hot」に参加し、ともに地域の未来を創造していきたい。

### 住所・電話番号・SNS等

高岡郡津野町貝の川床鍋392-2 Tel:0889-40-1703